

## 先進組合事例

### ～ 組合資料収集加工事業報告 ～

- 東京都中央会 -

東京都中央会では、このほど、先進的な組合事例の収集「組合資料収集加工事業」を実施した。この事業は、組合の実施している共同事業等で、先進的と思われる事例を選び、これを調査し、各種の資料を収集、加工、保管し、他の組合からの照会に応えるというもの。本年度は、「地域活性化への貢献」、「企業組合」についてそれぞれ1組合を選び実施した。概要は次のとおり。

#### テーマ 地域活性化への貢献

日本貴金属文化工芸（協）

～ 三宅島の火山灰で

ガラスジュエリー開発～

#### 組合の概要

1. 組合員数 152人
2. 出資総額 6,897万円
3. 組合の地区 東京都、山梨県、他16府県
4. 組合員の業種 貴金属・宝石製品製造又は加工
5. 設立年月 昭和37年6月

#### ポイント

三宅島の火山灰を8%混ぜたガラスがマリンプルーの輝きを見せる。これを活用して組合がガラスジュエリーを開発。地域振興の特産品に育てるため組合青年

部が大活躍している。

#### 1. 背景と目的

三宅島の火山灰を混入した三宅ガラスを東京都立産業技術研究所が開発した。これを知った組合副理事長と青年部代表は、三宅ガラスジュエリーの製作を計画した。理事長以下執行部は、この計画に全面的に協力することを決議した。そして、東京都中央会は活路開拓ビジョン実現化事業の補助金をこの開発事業に対して交付することにした。

#### 2. 地域活性化に貢献する事業・活動の内容

まず、三宅ガラスの特許を持っている東京都にその使用許諾を依頼するところから始めた。東京都立産業技術研究所はこの申し出を快諾。次いで、組合はガラ

素材を葛飾区の三晃硝子工業(株)に、宝石カットを台湾の業者に依頼した。これと平行し、三宅ガラスを用いたジュエリー部門とフリー部門の「デザイン画コンテスト」を開催し、新人を含め広く募集した。その後、実際に三宅ガラスを活用した「ジュエリーデザインコンテスト」を開催し、組合員や一般からも力作が多数応募され、業界紙にも発表された。また発表展示会場では即売も行われ、その売上金の一部は三宅村に寄付している。現状での三宅島の復興に対する支援は義捐金だけであるが、マスコミに取り上げられ組合の知名度アップと同時にガラスをジュエリーに昇華し新市場を開拓した効果は大きい。

### 3. 成果

成果は2つの面にわたる。一つは組合員への成果である。これまで、宝石類の加工しか経験のなかった組合員が三宅ガラス素材に関心を持ち、製品化への議論を戦わせたことで組合員企業にとって新しい活路を見いだしたといえる。特に中



井上産技研所長の説明を聞く石原都知事

心となって活動した青年部の会員にとっては即効的な成果ではないが大きな成果があった。二つめは三宅島の地域振興である。三宅島の火山灰が役に立ち、それを活用する道が開けたことで、島民に勇気と希望を与えたのではないだろうか。現状では精神面の貢献にすぎないが、近日中に三宅島の土産品及び東京都の地場特産品として定着し、三宅島復興と東京都の振興の象徴になることを期待したい。(写真参照)

## テーマ 企業組合

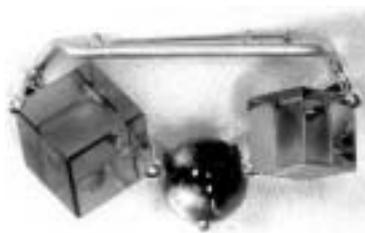
(企)ワーカーズ・コレクティブ 凡

～食べ手から作り手へ、体が喜ぶ

ブルーベリーソース作り～

### 組合の概要

1. 組合員数 13人
2. 出資総額 3,563万円
3. 実施事業 ブルーベリーソース及びジャム製造
4. 設立年月 平成元年8月



創作コンテスト 創作性部門グランプリ作品  
(東京都知事賞)

**ポイント**

食べる側が素性のわかったものを食べ、作る側は確実に販売できるものをきちんと作る、この仕組みを作り上げ、楽しく働く組合員の笑顔が印象的な、非凡な企業組合「凡」

**1. 背景と目的**

1984年、生活クラブ生協の組合員として共同購買運動に携わった20名ほどが、生協の業務の一部を請け負う任意団体を結成した。この団体が、市の農業委員会の紹介で地元の農家との関わりを深めるうちに、食べるだけだった自分たちが、何を食べるかを考えるようになり、さらに食べるものを作る側になることを思い立ち、1989年、企業組合を設立した。現在のブルーベリーソースを中心とした各種ジャム類の製造に落ち着くまでには、仕出し弁当、漬物等いろいろな事業に取り組んだ。この経験の中から「食べる側は素性のわかったものを食べること」「作る側は確実に販売できるものをきちんと作ること」この2点を組み合わせる



ジャム製造風景

ことが組合の使命だと認識されるようになっていった。

**2. 組合の特徴と事業概要**

組合の特徴を一言で言うと「厳しさと優しさのハーモニー」ということになる。作り手としての妥協のない厳しさが、できあがった製品を優しい味に仕上げている。また、厳しさは組合の出資金が3,500万円超である点にも現れている。個々の組合員の出資額は数百万円になる。本気で資本と労働を出し合っているから、お互いに思いやることができ、優しくなれるのである。

**3. 成果**

成果は次の2点である。①食べる側と作る側の好循環のモデルを作りあげたこと。②従事者の仕事に対する厳しさが仕事を楽しむレベルにまで高まっていること。方向性もこの2点を拡充していくことである。組合員が結婚、出産、育児、教育...と続く人生をこの組合の中で幸せに過ごせるようにすることが今後の課題である。(写真参照)



ブルーベリーソース